

研究開発戦略センター(CRDS)

現状と課題

平成24年10月23日

CRDS 副センター長

植田秀史

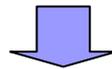


Center for Research and Development Strategy – Japan Science and Technology Agency

独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター

研究開発戦略センター

- 設立 平成15年7月
- 任務 内外の研究開発動向等の調査・分析



わが国が進めるべき研究開発課題、
科学技術システムの改善等に関する
提言作成 （公共政策のシンクタンク）

- 特徴 中立、公平、公正
エビデンスベースで提言作成

研究開発戦略センターの体制



センター長 吉川弘之
首席フェロー 野依良治

副センター長

事務局

ユニット

システム科学

電子情報通信

ナノテク・材料

ライフサイエンス・臨床医学

環境・エネルギー

イノベーション

政策

海外動向

職員	67
常勤	45
非常勤	22

研究開発戦略センターの活動・成果

活動

成果

成果の活用

科学技術分野の俯瞰

社会的期待の分析

重要テーマの選択

プロポーザル作成

戦略プロポーザル

10件/年程度
累積87件

調査・分析レポート

総合科学技術会議

文部科学省

各府省
日本学術会議
研究者コミュニティ等

JST

広く活用

国際比較、国際動向等

科学技術分野の俯瞰

ICT、ナノ・材料、環境・エネルギー、ライフサイエンス、システム科学 について

日、米、欧、中国、韓国

科学技術分野の俯瞰図

科学技術力の国際比較

俯瞰報告書

(2年毎にリバイス)

- ・対象分野の全体像
- 分野の範囲と構造
- 歴史、現状、今後の方向性
- ・研究開発領域、国際比較

海外動向の調査・分析

- カントリーレポートの作成
国別に科学技術イノベーション政策等を
まとめたもの。
- テーマ別の分析
 - ・中国のトップレベル研究施設の分析
 - ・各国のエネルギービジョンと研究戦略
- デイリー・ウォッチャー
最新ニュースをWEB上で提供

研究開発戦略 (-1-)

「戦略プロポーザル」

- ・今後国として重点的に取り組むべき、研究開発の戦略や、科学技術イノベーション政策上の重要課題についての提言をまとめたもの。

- ・累積 87件 (年平均10件程度)

研究開発戦略 (-2-)

「戦略プロポーザル」

- ・文部科学省、JSTの事業内容に反映
(トップダウン型の基礎研究等)

(例) 元素戦略

ICTのディペンダビリティ

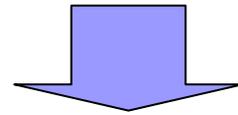
科学技術イノベーション政策の科学

- ・総合科学技術会議における検討(第4期科学技術基本計画)や各省の施策にも反映。
(臨床医学研究、エネルギー研究開発等)

今後の課題

国の科学技術イノベーション政策

“重要分野の研究開発振興”から
“社会の課題達成”に重点



CRDS

基礎研究から研究成果の産業化、社会システム改革までを全体としてとらえ、一貫した科学技術イノベーションに関する提言を行う。

科学技術イノベーション

①社会の期待に答える

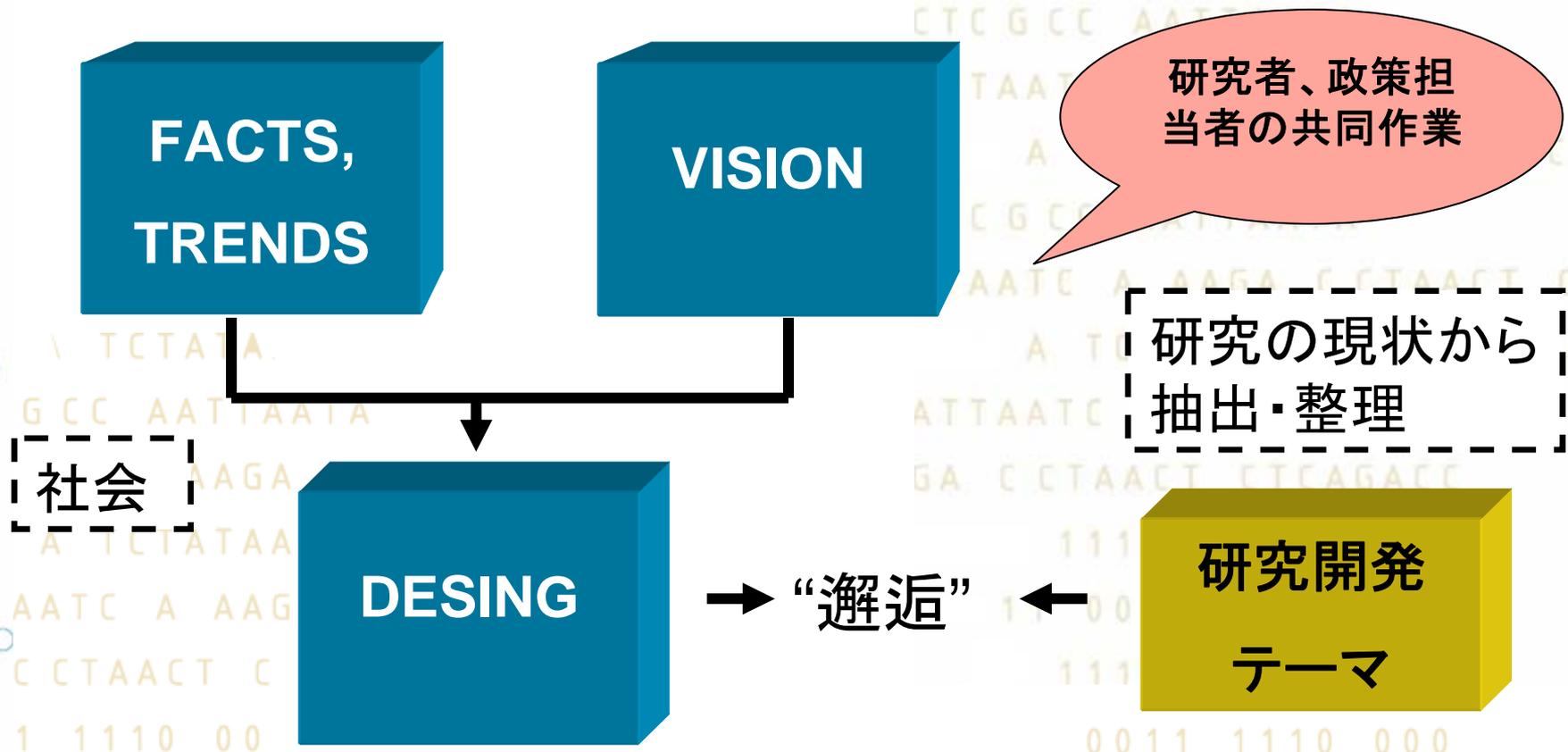
②持続性社会の実現に貢献

③豊かさの実現に貢献(企業が重要な役割)

④科学技術が重要な役割を果たす

社会的課題の分析・俯瞰

■ 社会的課題と研究開発テーマの“邂逅”

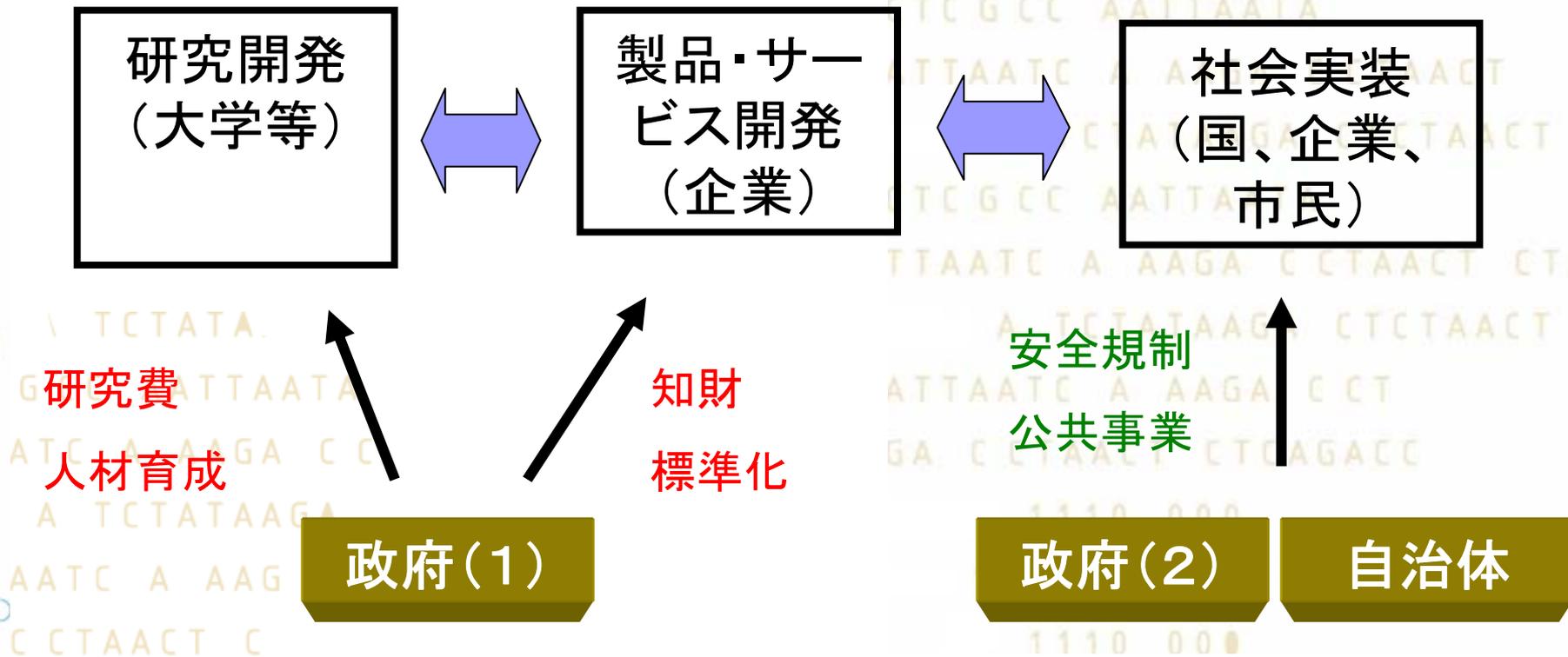


VISIONとTRENDSのギャップをどう埋めるか

CRDSで検討中の社会ビジョン

- 国際連携が出来る社会
- 地球環境・エネルギー問題への対応力がある社会
- 社会インフラの保守・修復・構築力がある社会
- 心身の健康寿命がのばせる社会
- 一人ひとりが能力を発揮できる社会

イノベーションの実現



ステークホルダーの多様化。 人文・社会科学の貢献。

ITS (Intelligent Transport System)

政府

内閣官房

総務省

経済産業省

警察庁

国土交通省

NPO法人 ITS Japan

企業・経済団体

大学等の研究者

独法・共同利用機関

自治体

財団法人等の団体

関係機関のネットワークの形成

- 科学技術政策から
科学技術イノベーション政策へ
↓
- 問題の複雑化、ステークホルダーの多様化
エビデンス、その背景となる知識の多様化
↓
- 一機関では対応困難
 - ◎関係機関のネットワーク形成必要
 - ◎「科学技術イノベーション政策の科学」と連携